

平成28年度 第1回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成28年7月7日（火） 13時30分～15時
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 5階研修室
- 3 出席委員 17名
丸山委員長，大矢副委員長，竹内委員，伊藤委員，近藤委員，岩戸委員，大金委員，増渕委員，石塚委員，高岡委員，荻原委員，小林委員，板橋委員，栗原委員，矢口委員，宇賀神委員，斎藤委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - ・ 報告事項
 - (1) 平成28年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について
 - (2) 宇都宮市民大学運営協議会への委員推薦について
 - (3) 平成27年度生涯学習センター事業運営の評価について
- 7 発言の要旨

丸山委員長 | まず 4議事（1）平成28年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について事務局から説明をお願いします。

事務局 | **【資料について説明】**

丸山委員長 | ただ今の説明について，ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

丸山委員長 | 意見がないようですので，この件につきましては以上といたします。
次に議事（2）の宇都宮市民大学運営協議会への委員推薦について，事務局より説明をお願いします。

事務局 | **【資料について説明】**

丸山委員長 | ただいま事務局から説明があったとおり，宇都宮市民大学運営協議会からは長谷川委員に継続してほしいとの意向があるとのことです。

継続については，長谷川委員もご理解いただいているとのことですので，引き続き長谷川委員にお願いするというところで，いかがでしょうか。

各委員	異議なし
丸山委員長	ありがとうございました。では、そのように決定したいと思います。なお、長谷川委員には事務局より報告をお願いします。
丸山委員長	次に、議事（３）の「平成２７年度生涯学習センター事業運営の評価について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】 【各センター所長による説明】
丸山委員長	ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。
伊藤委員	生涯学習センターにおける講座開催の軸足は人づくり、地域づくりにあるのかなと解釈しました。この目的を達するための手段として、各種団体の連携が明記されており、これは非常にいいことだと思いました。そこで、連携についての考え方がですが、講座を企画する段階から、どんな内容の講座をしたら市の趣旨に沿った講座ができるのかと相談していくのが連携だと思うのですが、依頼した講師の所属先を連携先として扱っている講座もあるのではないのでしょうか。連携団体という定義をしっかりとしないといけないと考えます。 また、「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」をするためには、まちづくりに力を尽くしている団体との連携を進めるべきじゃないのでしょうか。企画段階から様々な意見や知恵を貸してもらえらる団体をリストアップしてもらえれば生涯学習センターも依頼がしやすくなると思いますし、生涯学習センターと団体で相談しながら講座を作り上げていけば、市民にとって有意義な講座になると思います。
事務局	団体連携については、例えば「特殊詐欺被害」が地域の課題として出てきて、まちづくり協議会から生涯学習センターに「特殊詐欺の講座をやろう」という提案が出される、といったように、地域発意で講座が企画されるのが理想であると思っています。しかし企業でも出前講座を実施しているところがありますので、生涯学習センターが企画したいものと出前講座の内容が一致するなど、企業との共催も立派な連携であると考えています。
伊藤委員	連携講座というのは、企画段階から団体が携わっていくものだという考え方を周知徹底していただければ、より地域に密着した講座ができると思います。 子育て世代対象事業のべ参加者数のうちで子どもの参加者数を記載したのは意義深いことだと思います。生涯学習センターによって偏りが出るなど、統計をとることでいろいろなことが分かるので、今後も引き続き取ってほしいと思います。 子育て世代対象事業の欄を見ると、子どもの数と比較して延べ参加者数が多いよ

うですが、子どもを連れてきていない親が多いという理解でよいのでしょうか。

事務局

子どもの参加者数については、「子育て世代対象」のうち、対象に子どもが含まれる講座のみ記載しております。また、青少年対象事業における子どもの参加者数については、参加者はすべて子どもですので、配付資料に記載されている子どもの参加者数については削除いたします。なお、次年度以降は精度の高い数値をお示しできると考えております。

丸山委員長

私は大学にいますので講座の受け入れを行っている側ですが、宇都宮大学の地域デザイン科学部をはじめ、大学でも地域の方々との連携が進んでおります。また、大学のほうから地域に積極的に出て行って地域の課題解決に取り組み、その際に生徒を参加させるということも行っています。大学側も呼ばれたから講師に行く、ということではなく、いろいろな形で連携を取って、積極的に動いているのですが、情報が共有できないというのが現状です。

また、作新学院大学では「とちぎ学」などをテーマにして研究しています。県内の大学で地域を研究している人のデータベースも作っているのですが、そういうことが広がらない、ということがあります。講座の企画段階から大学側と話し合うということはいいことだと思いますので、生涯学習センター所長にはネットワーク作りを取り組んでいただいて、後任に申し送りする記録を残したり、地域の人と一緒に行って関係を継続させていくといったようなことをしてもらえれば、大学も関わりやすくなります。ネットワークづくりを巻き込んでいく、一緒に考えていくことが重要だと思います。

石塚委員

私は姿川地区青少年育成会をやっていますが、この数字にあらわれていない事業も多くあります。例えば5・6年生を対象にしたリーダー訓練では終了すると育成会長名と生涯学習センター所長名の連名で修了証を出しているし、花いっぱいコンクールも審査を合同で行って表彰しています。このように、数字に表れていない事業も現実にあります。まちづくり協議会についても姿川地区は安心安全や健康福祉、健全育成など、6つの部会に分かれて、例えば安心安全部会では地域のみなさんと呼んで、地域の安全を学ぶといった事業を行っています。そのような、地域の事業で生涯学習的な取り組みを入れていくと、広がりのある取り組みを紹介できると思います。

岩戸委員

「男の料理教室」に興味があるので、どのように企画・実施しているのか、実施している生涯学習センター所長に具体的にお話を伺えればと思います。

姿川生涯学習センター所長

「男の料理教室」については、地域についても理解の深い、姿川地区の食生活改善推進委員会の方を講師に招いて実施しています。男の料理ということで募集はしていますが、男性だけでは定員は集まらないので、実際は女性も参加しています。特に男性は料理を作る機会が少ないので、料理を作りながら地域の人と親交を深め

ていただくことで、地域への理解を深めてもらう、地域づくりデビューのきっかけづくりとしてもらうことを目的に行っています。事業の見直しは検討していますが、料理教室というやり方は継続していこうと考えています。

小林委員 資料の中にVスタッフ企画講座とありますが、Vスタッフとはどのようなものでしょうか。

事務局 一昨年に、生涯学習コーディネーター制度をより発展的に活用していただくために、講座企画運営ボランティアスタッフ、Vスタッフという事業に変更いたしました。活動内容は同じですが、今までは中央・東・西・南・北と上河内・河内の7生涯学習センターのみで講座の企画・運営を行っていたところ、今年度から18生涯学習センターに活動範囲を広げたところです。

竹内委員 重点項目「ウ. 学習情報拠点としての充実」についてです。生涯学習課としてどう充実させていくか、という考え方を示しているという理解で良いのでしょうか。学びたい人にとって、生涯学習センターに直接質問をしに行くのは敷居が高いので、パソコンでどんな講座をやっているかを知らせるというのは第一段階として重要なことだと思しますので、引き続き力を入れていただきたいです。

事務局 学習情報拠点としての充実については、ご指摘のとおりだと考えています。また、情報提供の重要性についても認識しているところなので、今後も講座情報が最も手厚いマナビスやホームページ、広報うつのみやはもちろん、新規の講座やタイムリーな講座は募集記事や開催の様子が記事になることも見込めますので、プレスリリースなども活用しながら、生涯学習センターの存在そのものや講座の周知については一層力を入れていかなければならないと考えております。

竹内委員 学んだ人材の活用についてですが、講座修了後、受講者がどのように地域に入っていくのかを追跡調査してほしいと思います。地域に入っていくことはなかなか難しいので、最初の企画段階から地域の人と講座の企画を考えていければより効果的なのではないかと思います。「地域講座をやりました、さあ地域に出ましょう」という考え方は難しいところがあると思いますので、はじめから地域の人と一緒に講座を考えるようなやり方で進めてほしいと思います。

事務局 講座修了後の人材の地域への活用については、生涯学習課としても基本的にはその先の地域での活動を見据えて地域のことを学ぶ、というように一体的に地域学の講座を実施するよう生涯学習センターに周知しております。また生涯学習センターはまちづくり機能も併せ持つため、今年度よりまちづくり所管課と合同で、講座担当者向けの研修を開始しており、横断的な組織体制で事業を展開できるよう進めていきたいと考えております。

丸山委員長	<p>ありがとうございました。他に無いようですので、この件につきましては以上といたします。</p> <p>以上をもちまして、本日予定いたしました議事は全て終了いたしました。委員の皆様には、円滑な会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局に戻します。</p>
事務局	<p>それでは、「5 その他」に移らせていただきます。</p>
事務局	<p>【配付物及び次回の会議日程について説明】</p>
事務局	<p>本日は丸山委員長を始め、委員の皆様、長時間のご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成28年度第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。</p>